



社会福祉法人 御前崎厚生会
 特別養護老人ホーム 灯光園
 電話 (0548)63-3729(代表)
 FAX 63-4131
 灯光園デイサービスセンター
 63-6002
 灯光園在宅介護支援センター
 63-5116
 灯光園居宅介護支援事業所
 63-5115



夏に向かって

施設長 澤島 久美子

梅雨が明けると、夏が来ます。「暑いだろうなあ」と想像するだけで、汗が出るような気がします。花火やスイカやひまわり、やっぱり待ち遠しいですね。

先日菊川のアエルへ常葉菊川高校吹奏楽部の定期演奏会に、利用者さん二人と出かけました。結構長い時間ですが、お二人とも、大変そうな様子も見せずとても楽しそうでした。リズム感のある曲の時には手拍子をしたり、車椅子をたたいて拍子を取っています。帰り道までここにこでした。

特養利用のお年寄りの姿は、変わったと感じます。寝たきりの方はほとんどいないのです。のんびりしたり、張り切ったり、役割を感じたり、訓練してできることを増やしたりと、それぞれが目標を持って生活されています。それをお手伝いする私たちも、目標を持った生活をしたいなあと感じます。

『こちら、灯光園居宅介護
支援事業所です』

徘徊できる街づくり

ケアマネジャー 瀧口 美千代

ある日「徘徊できる街づくり」と聞いて、思わずテレビに見入ってしまいました。私が求めていたのは、まさにこの言葉です。「見守りネットワーク」とロボのステッカーを見かけるようになり、認知症の方を地域で支えるという言葉も浸透してきました。

では、私が認知症になり、次のような症状が出てきても私の思うような生活が御前崎で出来るでしょうか？次に出て来る主人公の『私』は、そこかしこにいる貴女のことかもしれません。『私』は、このごろ物忘れをすることが増えてきました。自分にイライラし、必死にメモをとる何度も確認します。そのうち

に、メモした手帳を置き忘れて「誰かがいじわるした」と、夫や嫁を疑いました。「手帳を失くしちゃいけない」と大事にしまいい、しまった場所を忘れ「ドロボーが入った」と騒ぎました。忘れっぽくなった事を人に知られるのが怖くて、人の集まる場所には行きたくありません。

「しつかりしろ」「情けない」と家族に言われ、部屋に閉じこもることが増えました。自分が輝いていた頃を思い出すのが一番の楽しみです。

ある日、子供がいない事に気付き必死に捜しました。子供はまだ小学校低学年と保育園です。家には大人しかいません。子供を捜しに外を歩き回りました。

『私』は保護されました。『私』は目的があつて歩いているのです。家族に何度止められても、子供を探さなければ心配です。不安です。

テレビでみた「徘徊できる街

づくり」では、認知症の人が自由に散歩（徘徊）しています。街の人が認知症という病気を理解し、その人が何を必要としているかを察してくれます。小さな子供を捜している人には、「〇〇ちゃん、もう家に帰ったよ」と声をかけてくれ、その人は安心して家に帰っていきます。穏やかな日常が繰り返されています。

認知症の方に関わる時、まずご本人の体調を見ます。

食事や水分は足りているか。

便秘はしていないか。病気と薬の副作用はないか。次に、その方の環境に変化はなかったかを確認します。例えば、最近知り合いの不幸などで寂しい気持ちになった事はないか。何か新しいことが起きなかったか。日中の過ごし方はどうか。それらを見て改善策を考え、提案しますが、介護保険やケアマネジャーが解決できることばかり

ではありません。ご本人とご家族の生活継続が厳しくなっていくのを、側で一緒に悩むしかない時もありました。

「徘徊できる街づくり」は、誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせます。認知症を支える地域づくりを進めることも私たちの役目だと思います。



よく噛んで楽しい食事3 食べる楽しみをいつまで

歯科衛生士 鈴木 美穂

「人生最後の食事に何を食べたいですか。」こんな質問をされたら、みなさんはどんな食べ物を答えますか。私は母の作ってくれた南瓜の煮物とオムライスと答えます。

加齢や病気のために、食事が減少し、施設で提供する食事が食べられなくなる方がいます。そのまま食事ができず、看取られる方もいますが、その時にご本人の好きだった物や食べたい物を、体調の良い時に召し上がっていただくことで体調が回復することがあります。食事は口から食べ物を入れるだけでなく、味やにおい、触感を味わい、一緒に食べる人と会話をしながらいただくことで、楽しむことができます。

先日、私の祖母が一〇一歳で亡くなりました。その二ヶ月程

前からベッドで寝ている状態でしたが、亡くなる前日の夕方に母が会いに行くと「お煎餅が食べたい。」と言ったそうです。体を少し起こして、お煎餅を手に持ち、ほおぼると「あー、しょっぱくて美味しかった。」と喜びました。自分の歯はなく総入れ歯でしたが、最期にお煎餅をしっかりと噛んで味わえて、幸せだったことでしょう。

人生の最後に、食べたことのない高級な物を食べたいと言う人はいないと思いますが、ミキサーにかけたり、ペーストになった食事を食べたいと言う人もきつとないと思います。

味覚や嗅覚は加齢と共に変化していきませんが、美味しいと感じた記憶は変わりません。好きだった食べ物、思い出の味を最期の時まで味わい楽しむ。そのためにも今、現在の食事をよく噛んで味わって食べることが大切なことのひとつではないでしょうか。

青葉雨

5月は斉藤様、池谷様、カラクリBOX&正次郎様、動物ふれあい訪問の皆様。6月は家族会の皆様、わんぱく振興会の皆様。いつも大勢の皆様にご助けられています。ありがとうございます。



平成27年度 社会福祉法人御前崎厚生会 事業報告

1 本部

御前崎厚生会理事会6回開催 評議員会6回開催

27年度は例年通りの役員会開催でした。御前崎厚生会は5月5日が区切りの日であり、28年3月6日に理事長の互選がありました。柏原秀紀理事長が再選され、更にあと2年の任期を務めることになりました。

苦情について

合計4件の苦情がありました。前号のみさきに掲載しました。

研修について

外部研修 56の研修に延べ91人が参加しました。

内部研修 19の研修会を行い、延べ286人が参加しました。

他に、施設見学を3回受けています。また、他の施設の研修会で介護力向上の取り組みの話をしていただく機会がありました。

事故について

保険請求をした大きな事故は4件ありました。そのうち1件は食事時の誤嚥の事故で、大変残念なことに、利用者さんが一人亡くされました。事故の検証や、検討会、今後の対策についての話し合いなど、同じ事故を2度と起こさないための研修を重ねました。

おむつゼロ達成報告会パート4

平成27年11月14日（土）に報告会を開きました。

午前中は、灯光園カフェ・リハビリマシン体験・認知症チェック・ユニット見学・パネル展示・ビデオ上映などを行いました。

午後は報告会を行い、水「生き生きと暮らす」・食事「食べるをつくる」・排泄「すっきり快便」・運動「歩いて元気になろう」の4つを報告しました。

地域の皆さんや施設関係者・利用者家族など67人の参加がありました。

2 特別養護老人ホーム灯光園

利用者の状況

平均介護度 3.7 平均年齢 87.9歳 最高齢103歳

介護力向上講習会の取り組みを始めてから9年がたちます。おむつはずし、トイレでの自然排便、常食、歩行などに取り組んできました。利用者の皆さんはどんどん元気になっています。しかし、27年度は22人の利用者、延べ534日の入院がありました。前年よりだいぶ増えています。

優先入所検討委員会について

4月 7月 10月 11月 1月 3月開催 3月末待機者…112人

平成27年度は18人の方の入所がありました。通常は年に4回会議を開きますが、27年度は6回開きました。11月の会議は、平成27年7月に要介護5で入所された利用者さんが11月から要介護1になり、基本的には施設利用ができなくなりました。会議を開き、在宅に戻った場合はどうなるかなどの想定し、難しいであろうとの結論で、特列入所としました。3月の会議は1月に作成した名簿の待機者が2名になってしまったため、4月では間に合わない恐れがあるため、開催しました。名簿の待機が少なくなったのは、順番が来ても見送る方が多くいたためです。

この委員会は法人の第三者委員の松井秀浩さん、丸山雅代さんが参加していただきます。

3 灯光園デイサービスセンター

通所介護利用実績 延べ利用人数 … 9,689人

介護予防利用実績 延べ利用人数 … 361人

障害者通所介護 延べ利用人数 … 110人

昨年よりも述べ利用で450人も利用が増えています。皆さんマシンのトレーニング・趣味活動に熱心に取り組んでいます。マシンの指導のほか、趣味活動の支援等、たくさんの方がボランティアに来ていただきました。ありがとうございます。

4 灯光園短期入所生活介護事業所

延べ利用人数 … 4,350人 稼働率 … 89.0% 1日平均11.89人

昨年と比べると250人ほど少ない利用でした。来ていただく方々には満足いただけるように取り組んでいます。新規の利用者が増えませんでした。

5 灯光園居宅介護支援事業所

請求件数 介護給付 … 1,227人 予防給付 … 107件

地域で介護保険サービスを使う皆さんの、介護サービス計画の作成やサービスの調整をしています。ケアマネージャー3人で在宅のお年寄りの支援をしています。介護給付の数を増やすことができました。予防給付については昨年より件数が減りました。

6 障害者短期入所生活介護事業所

利用人数 … 34人 利用延べ人数 … 186人

介護保険の短期入所の空きベッドを利用して行っています。昨年より多くの方にご利用いただきました。

7 灯光園在宅介護支援センター

訪問件数 … 9件

御前崎市包括支援センターと連絡を取りながら、在宅の高齢者の支援をしています。27年度は「灯光園に遊びに行こう会」を2回開催し、在宅の方の日中支援をしました。

平成27年度社会福祉法人御前崎厚生会 決算報告

ここに、平成27年度財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書を公表します。

平成28年3月31日現在 財 産 目 録 (単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
預 金 ・ 現 金	238,909,634	流 動 負 債	52,730,012
未 収 金 ・ 前 払 金	82,656,010	固 定 負 債	224,777,141
基 本 財 産	784,515,627		
そ の 他 の 固 定 資 産	405,011,605		
資 産 合 計	1,511,092,876	負 債 合 計	277,507,153
		差 引 純 資 産	1,233,585,723

平成28年3月31日現在 貸 借 対 照 表 (単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産 計	321,565,644	流 動 負 債	52,730,012
現 金 預 金	238,909,634	事業未払金・未払費用	9,422,554
事業未収金・未収補助金	80,415,648	1年以内返済予定設備資金借入金	24,390,000
立 替 金	705,556	職 員 預 り 金	958,108
前 払 費 用	1,534,806	仮 受 金	0
固 定 資 産 計	1,189,527,232	賞 与 引 当 金	17,959,350
基 本 財 産	784,515,627		
建 物	774,356,827	固 定 負 債	224,777,141
土 地	5,158,800	設 備 資 金 借 入 金	220,400,000
定 期 預 金	5,000,000	退 職 給 付 引 当 金	4,377,141
そ の 他 の 固 定 資 産	405,011,605	負 債 の 部 合 計	277,507,153
建 物	19,151,275		
建 物 付 属 設 備	199,378,630		
機 械 及 び 装 置	97,670,402		
構 築 物	26,755,661	純 資 産 の 部	
車 両 運 搬 具	4,232,251	基 本 金	88,240,515
器 具 及 び 備 品	7,740,225	国庫補助金等特別積立金	612,444,755
土 地	45,675,000	次期繰越活動収支差額	532,900,453
退職給付引当資産	4,377,141	純 資 産 の 部 合 計	1,233,585,723
そ の 他 の 固 定 資 産	31,020		
資 産 の 部 合 計	1,511,092,876	負債及び純資産の部合計	1,511,092,876

平成27年4月1日～平成28年3月31日 資金収支計算書 (単位 円)

収入の部		支出の部	
介護保険事業収入	482,118,532	人件費	334,901,573
障害福祉サービス等事業収入	2,861,980	事務費	47,912,723
借入金利息補助金収入	612,127	事業費	67,056,633
経常経費寄附金収入	20,000	利用者負担軽減額	1,027,940
受取利息配当金収入	127,487	支払利息支出	5,830,317
その他収入	4,211,480	その他支出	3,582,084
施設整備等補助金収入	3,110,370	設備資金借入金元金償還支出	24,390,000
固定資産売却収入	0	固定資産取得支出	1,904,132
積立資産取崩収入	169,588	積立資産支出	317,400
合計	493,231,564	合計	486,922,802
		収支差額	6,308,762
		前期末支払資金残高	304,876,220
		当期末支払資金残高	311,184,982

平成27年4月1日～平成28年3月31日 事業活動計算書 (単位 円)

収入の部		支出の部	
介護保険事業収益	482,118,532	人件費	333,030,214
障害福祉サービス等事業収益	2,861,980	事務費	47,912,723
経常経費寄附金収益	20,000	事業費	67,056,633
借入金利息補助金収益	612,127	利用者負担軽減額	1,027,940
受取利息配当金収益	127,487	減価償却費	64,658,207
その他サービス活動外収益	4,211,480	国庫補助金等特別積立金取崩額	-36,173,713
施設整備等補助金収益	3,110,370	支払利息	5,830,317
固定資産受贈額	0	その他のサービス活動外費用	3,582,084
固定資産売却益	0	固定資産売却損・処分損	21,411
		国庫補助金等特別積立金積立額	6,110,370
		その他の特別損失	0
合計	493,061,976	合計	493,056,186
		当期活動増減差額	5,790
		前期繰越活動増減差額	532,894,663
		当期末繰越活動増減差額	532,900,453
		基本金取崩額	0
		次期繰越活動増減差額	532,900,453

ボランティア紹介

『俳句作りから得るもの』

俳句ボランティア 鈴木 喜夫

誰もそれぞれの思いを抱いて毎日をご過ごしています。その思いを俳句を作ることを通して、さらに鮮明にして、もっと広く心を開いて、これから生きていく励みにしていただければ幸いです。

「お母さん」娘が買ひ物袋

下げてきた (Sさん)

母と娘の心のつながりが胸に迫ります。心の中で娘へ「ありがとう」を連発していることでしょう。

夫植えた椿 大きな花

咲かせて (Mさん)

椿の花を見ることは、ご夫君の対話の象徴でしょう。「来年も」という願いも含まれています。

花作れない私が作る

花は心に (Tさん)

胸の奥に自分では気付かな

かった思いが、俳句を作る時に自然に出てきて、前向きに生きていく姿を作り上げています。被災地に雪降るこんなこと

あつていいか (Mさん)

自分自身の不自由な体ことは横に置いて、胸の内の正直さに感動します。

災害地へただ頑張れと

いう言葉 (Hさん)

何もできない自分だが、心で励まし、祈っていく作者の心が尊いです。

盆月になる母の笑顔を探す

(Hさん)

麦笛を鳴らした幼い日に帰る

(Tさん)

空襲で逃げた故郷に母は

いなかった (Oさん)

好きな人好きと

言えなかった昔 (Fさん)

長く使った私の手

動きません (Nさん)

思い出はどんなものであれ、

今の自分へつながり、生きていく支えになっていることが大切

だと考えます。

ボランティア活動

～あいがとう～

灯光園

(五月)

○山崎 麻妃様 (書道クラブ) 二回

○静岡県動物保護教会 小笠支部 (動物ふれあい訪問) 一回

○家族会 (草取り) 一回

(六月)

○乙坂 昇平様 (家族会喫茶店フルト演奏) 一回

○大澤 晶子様 (家族会喫茶店歌唱者) 一回

○小野田 薫様 (家族会三味線ギター演奏) 一回

○山崎 麻妃様 (書道クラブ) 二回

○新城 大海様 (活動の手伝い) 二回

○曾根紀久雄様 (芋のつる植え) 二回

○加藤 芳子様 (芋のつる植え) 二回

○斉藤さと子様 (芋のつる植え) 二回

○カラクリBOX&正次郎様 (マジック&音楽) 一回

灯光園デイサービス

(五月)

○川口 節子様 (絵手紙) 二回

○清水ソノ子様 (カラオケ支援) 二十五回

○横山 守様 (パワーリハビリ補助) 四回

○鈴木 喜夫様 (俳句の会) 一回

○松下 肇様 (のこぎり演奏) 一回

(六月)

○川口 節子様 (絵手紙) 二回

○清水ソノ子様 (カラオケ支援) 二十一回

○横山 守様 (パワーリハビリ補助) 四回

○鈴木 喜夫様 (俳句の会) 一回

○日赤奉仕団御前崎十八名様 (草取り) 一回

○御前崎ドリームメイト様 (ダンス) 一回

六月三十日現在

編集後記

マーマレードから始まり、グミのジャム、今は赤しそのジュース真っ盛り、保存食作りで季節を感じています。

(N)

